# 中３　英語

## オンライン授業の実施について

保護者の皆様

　いつもお世話になっております。次回の授業もオンラインにて授業をさせていただきます。オンライン授業では、対面授業とは異なる部分もございますが、できる限り普段の授業のように、お子様が楽しく参加できる授業展開や、疑問点やわからない問題などには、お子様が発言しやすい空間作りを目指して授業を行っていきます。今後も引きつづきよろしくお願いいたします。

担当　高田

次回の授業も前回と同様に「中３英語」では講義形式でノートを取りながらの授業を行う予定でございます。そのため授業前には以下のご準備をお願い致します。



授業で使用するもの

筆記用具、ノート等に書き込みができるもの、

塾で配布されているテキスト「実力完成問題集」

３月下旬に配布した「授業で使うからね」と言われたプリント

セカイのことをかんがえる KOMABA DAY

第９号　2020/4/21

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

# 思いあい、助け合うこと

**手作りマスクを県に寄付した少女　今度は大学医学部に寄付【2020 年 4 月 21 日】**

3 月に約 600 枚もの手作りのマスクを山梨県に寄付して感謝された、中学 2 年生の滝本妃（13）さん。今度は、山梨大学の医学部に手作りマスク約 250 枚を届けた。



作ったマスクを寄付する滝本さん

山梨大学の付属校に通う滝本さんは、県に手作りマスクを寄付したのがきっかけで学長賞を授与された。その際に、医療現場でマスク不足が起きていることを知ったという。医療現場でも使えるよう、抗ウイルス加工を施したコットンを間に入れて縫っていた。これまでに約 900 枚を手作りして、寄付してきた滝本さん。反響が多い一方で批判的な声もあったことから、縫うのをやめていた時期もあったという。そんな時支えになったのは、マスクを受け取った人からの手紙だった。たくさんのメッセージに支えられ、再びマスク作りに取り掛かった滝本さん。そして今回の寄付になった



中国から那覇市へ善意で届けられたマスク

大変な状況にある人の力になりたい、大変な時だからこそ誰かを応援したい。そう思い行動することが、実際に誰かの力になることもあります。2011 年の東日本大震災の時には、国内のみならず国際的な援助がたくさん報告されました。今回のコロナの件でも海外からのマスクの援助は多数報告されています。なぜ助け合いたいと思うのでしょうか。その根本には「感謝」という気持ちがあるのではないでしょうか。今回の件で、普段私たちが何気なく暮らしている「日常」は、人々の頑張りが積み重なってこそ出来上がっているということがよく分かりました。普通だと思っていた日常はありがたいことで、感謝すべきことだったのかもしれません。では、どんなことに感謝できるでしょうか。そして、そのお礼に私たちはなにが出来るでしょうか。良かったら、自分の身の周りで考えてみてください。自分の感謝で誰かを助けることができるかもしれません。（谷口）